

◆京都大学サイエンスフェスティバル福井代表選考会  
1月13日、校内選考より選ばれた2年理数探究科より1チームが、3月に開催される京都大学サイエンスフェスティバル2020の福井県代表を決める選考会にて、口頭発表で「観天望気～天気の言い伝えは本物か～」の研究成果を発表しました。惜しくも福井県代表には選ばれませんでしたが、大変ユニークな研究内容となりました。

#### ◆2021マイプロジェクトアワード

1月24日、マイプロジェクトアワード北陸サミットに、2年普通科（文系）から27チーム、1年文理探究科から3チーム、計30チーム64名が参加しました。今回は感染症対策のためオンライン開催となり、本校生徒は各教室からZoomでの参加となりました。他校からの参加も含めた全チームが9つのホームチームに分かれ、それぞれのホームチーム内でスライドを用いたプレゼンテーションを行い、大学教授や専門家の方々から助言をいただきました。普段とは異なるコミュニティの中で、お互いにアドバイスを贈り合いそれぞれの探究活動を認め合う中、探究学習へのモチベーションを高める機会となりました。



#### ◆課題解決型学習モデル開発事業成果報告会

2月8日、福井県教育総合研究所主催の成果報告会へ、2年国際探究科・普通科（文系）より10名の生徒が参加しました。福井大学大学院より4名の先生方が助言者として参加され、15分のポスター発表と「探究活動で育成される資質・能力について」がテーマのワークショップが実施され、同県の課題解決型学習モデル開発事業校同士の生徒たちが、地域の課題や未来などを語り合う機会を持つことができました。



#### ◆第18回日本地質学会 ジュニアセッション

コロナ禍の影響により、開催地やコアタイムは無く、ポスターの審査のみとなり、本校からは2年理数探究科より3グループが応募し、電子ポスターを提出しました。

1	放射線を用いた効率的な地質調査とその評価
2	パイピング現象の防止法
3	観天望気～天気の言い伝えは本物か～

#### ◆第8回全国海洋教育サミット

2月11日、全国海洋教育サミットに2年海洋科学科から3チームの生徒が参加しました。オンライン開催となり、本校生徒はZoomを使用し実践・研究発表を行いました。トーク・セッションでは「海洋と人類の共生のために、どんな体験が必要か」について「食」を手がかりに、教育的観点から考えを深めていきました。

#### 【海外交流】

##### ◆探究科学ⅠフィリピンDLSL生徒との交流会

1月24日、1年探究科学Ⅰ（国際探究科予定）の生徒を対象に、フィリピン デラサルリパ高校の生徒と交流会を開催しました。Zoomを使用し、社会科学に対する興味関心や研究への意欲を高めるとともに、英語によるコミュニケーションを通じて交流・課題発表も行いました。課題発表では、交互に発表と質疑応答を行いました。



##### ◆フィリピン・シンガポール研究交流会

1月26日、2年国際探究科生徒対象にフィリピンデラサルリパ高校、シンガポール国立大学附属高校とオンライン研究交流会を実施しました。文化・背景が異なる者同士で議論を通して、多角的に物事を考える力を獲得し、海外高校生からの指摘を踏まえ自身の研究を洗練させる目的です。お互いアイスブレイク（自己紹介）をし、研究発表・質疑応答を行いました。「コロナ社会での経験を今後にどう生かすか」をテーマにグループディスカッションも行い、実践的な英語のコミュニケーション力を養う事ができ、有意義な時間となりました。



2020年秋、台湾研修等で交流のある台湾基隆市立暖暖高校より手作りマスクの贈り物がありました。藍色のタイダイ染めのマスクは、生徒が一から手作りしたそうです。前年度の台湾研修に参加した生徒への手紙も入っており、心のこもった贈り物に感動しました。



#### 【サイエンスキャッスル2020関西大会】優秀賞獲得！！

「パイピング現象と堤防の底の形状の関係」の研究を行った2年理数探究科の平田崇視さん・田邊大貴さんが、サイエンスキャッスルポスター優秀賞を獲得しました。

#### 【缶サットHigh Schoolふくい缶サットグランプリ】奨励賞獲得！！

2年理数探究科の桂田陽向さん・田邊大貴さん・松本翔馬さん・吉村好生さんが参加し、奨励賞を獲得しました。

#### 【福井フューチャーマイスター】トップ賞獲得！！

3年海洋科学科の松井夢実さんがトップ賞を獲得しました。

#### 【エシカル甲子園2020】本選出場決定！！

2年普通科（文系）の北山夢瑠さん・木下大生さん・北村聖樹さん・北村琉輝さん・鳥羽一希さん・森口航大さんにより構成されたチームが、本選に出場することが決定しました。3月26日（金）「小浜未来構想」をテーマに日頃の取組の成果や今後の展望等について発表してきます。

#### 【科学地理オリンピック】第二次選抜大会出場！！

2年理数探究科の桂田陽向さんが第二次選抜大会に出場しました。

# 福井県立若狭高等学校



# SSHだより

【HP】 <https://www.wakasa-h.ed.jp> 【E-mail】 [ssh@wakasa-h.ed.jp](mailto:ssh@wakasa-h.ed.jp)

平成29年度文部科学省から5年間の研究指定を受けた本校スーパーイエンスハイスクール（SSH）4年目の事業が終了します。本号では、生徒研究発表会など後半に行われた事業を中心に取り上げました。

## SSH校内生徒研究発表会を開催しました！！

2月13日、若狭高校SSH研究発表会を開催しました。例年多くの方々にお越しいただき活気溢れる研究発表会ですが、今年度は生徒および参加する方々の安全を考慮し、近隣の中学生および県外からの参加はZoomを利用し、一部をオンライン開催にしました。

#### 【午前の部：口頭発表】

午前に各学科2年生（理数探究科・国際探究科・海洋科学科・普通科理系・文系）による、口頭での今年度の成果発表を実施しました。学科別・分野別の計21会場で行われ、各会場に大学の先生方・専門家の方々をお招きし、ご講評いただきました。



#### 【午後の部：ポスター発表】

午後に1・2年全学科合同のポスター発表を実施しました。今年度の探究活動の成果について生徒同士で見学しあい、質疑応答や「いいねシール」でのコメントによる意見交換が行われました。



#### 発表会参加（Zoom）中学生のアンケートより

- ・身近なものから疑問を見つけて、そのため自力で実験検証するというのではなく難しいと思うのですがそれをやつてのける高校生に自分になりたいなと思った。
- ・自分たちが日常生活で疑問に思ったことをそのまま研究の課題として取り組んでいることが分かった。仲間と実験の仕方の案を出し合って1つ1つ丁寧に仮説をたてて、実験を行っていることが分かった。またいろいろな先生の協力のおかげでできることも分かった。
- ・全体で凄いなと思ったことの一つは、質疑応答です。私も画面の外から発表を聞いていたけど、初めは疑問や提案は何も浮かびませんでした。しかし、若高生の疑問や提案から、どのような視点で発表を聴くのかが分かりました。
- ・高校生が探究活動でどのようなことをしているのかを知れて良かったです。トマトやブルーギル、観天望気など身近なものに着目していてすごいなと思いました。高校生の発表に対して大学の教授から助言をもらい、探究活動をさらに発展させていく機会があるのはとても良いことだと思います。

Vol. 26

2021.3

# 若狭高校と横浜国立大学の共同研究協定締結式が行われました！！

2月2日、オンラインで横浜国立大学・福井県教育庁・若狭高校を繋ぎ、本校と横浜国立大学教育学研究科との共同研究に関する契約締結式を開催しました。

探究的な学習で生徒が何を学び、どんな資質・能力がついたと認識するのか、それには学習活動でどのような取組をすることが必要なのか、また様々な資質・能力を育むための教員の指導のあり方について、若狭高校と横浜国立大学が科学的な検証を基にそのモデルを開発し、世界の教育に貢献します。

福井新聞、中日新聞、県民福井にも掲載していただき、福井テレビで放送された内容は、Yahoo!ニュース「横浜国立大が福井県の若狭高校と協定締結 探究的な学習モデル確立へ」でご覧いただけます。



## 【第5回全国高校生SBP交流フェア】 ◆審査員特別賞受賞◆

8月1日・2日「第5回全国高校生SBP交流フェア」のポスターセッション発表に、本校生徒3チームが出場しました。「食のまち小浜ティックアウトプロジェクト」チームの村宮汐莉さん・友本早耶さんペアが、8月23日のオーラルセッション出場に選ばれ、見事、審査員特別賞と皇學館大学生スタッフ賞を獲得、W受賞となりました。また、海洋学科「海洋プラスティック再生プロジェクト」チームが、ベネッセ賞、海洋学科「若狭ウニワニ大作戦」チームが、百五銀行賞を獲得しました。



## 第1回高校生起業家育成プロジェクト【ビジネスアイデアコンテスト】 ◆最優秀賞&優秀賞受賞◆

3年国際探究科の友本早耶さん・普通科の村宮汐莉さんのビジネスアイデア「小浜未来構想一情報をつなぐ場から人々をつなぐ場へー小さなAgencyを生み出し育てる大きなビジネス」が最優秀賞を獲得しました。

2年理数探究科、桂田陽向さん・兼田悠汰さん・百田康志さんの「桂田農園チーム」は、優秀賞を獲得しました。



## 【訪問研修】

### ◆12月21日

2年国際探究科生徒22名が、若狭湾エネルギー研究センターへ訪問し「原子力グローバルスクール2020」を受講しました。原子力国際を専門とした研究員・福井県国際交流員より他国の文化・エネルギー情勢について講義いただき、グループ討議・発表を通して、理解を深めました。



### ◆12月24日

2年理数探究科生徒33名が、若狭湾エネルギー研究センターへ訪問し、日頃体験できない科学的事象や学習内容を応用発展させた実習を体験しました。理系分野に対する具体的なイメージを広げ、進路について考える良い体験ができました。



## 【特別講座】

### ◆探究協働会議

12月15日、1年理数探究科志望者32名対象に、探究協働会議を実施しました。専門家を講師としてお招きし、生徒が設定した研究テーマの発表を行いました。テーマの背景・目的、仮説、実験方法等についてご指導いただきました。



### ◆杉浦いちこ先生 テーマ助言会

1月26日、1年文理探究科のうち、国際探究科志望者24名の生徒対象に、杉浦いちこ先生よりご指導いただくテーマ助言会を実施しました。現在生徒が探究している課題を深める方法や今後の方針性についてのアドバイスをいただきました。杉浦先生は、本校の社会科学分野の探究学習に継続して関わってくださっており、今回も丁寧に生徒へご指導くださいました。



### ◆サイエンスダイアログ③

2月1日、2年5組の生徒対象に京都大学より Dr. Tayyebeh Kalat SOLTANI (Mrs.)、講義補助者として京都大学大学院より安齋亮彦氏にお越しいただき、英語での科学講義を実施しました。



講義題目「ナノ光触媒とその環境への応用」について丁寧にお話くださいました。生徒からは、「研究の事だけでなく、イランのことについて知れて興味のわく話だった」などたくさんの前向きな意見が出ました。

## 【校外発表会】

※オンライン発表含む

◆第14回高校生理科研究発表会（オンライン開催）  
12月21日～12月28日まで開催された千葉大学主催の高校生理科研究発表会に、2年理数探究科・科学部・2年普通科（理系）全生徒が参加し発表しました。音声解説付きのスライド形式で作成し、オンラインシステム上に掲示した研究発表を他の発表者と審査委員に閲覧していただき、チャットで質疑応答しました。

### ◆豊岡アカデミア～探究・課題研究発表会～

（オンライン開催）

2月6日、2年理数探究科生徒が兵庫県立豊岡高校主催の豊岡アカデミアに参加し1グループが発表しました。他校の発表も聞き理系分野に対する興味関心が広がり、交流する良い経験となりました。



### ◆福井県合同課題研究発表会

2月11日、合同課題研究発表会に、2年理数探究科・海洋科学科・普通科（理系）の生徒40名が参加しました。県内外の課題研究に取り組む中学校・高等学校がそれぞれ口頭発表・ポスター発表を行い、研究交流を充実させました。



### ◆5 Gyres + LAMI Virtual Zoom Field Trip

11月3日、マイクロプラスチックゴミについて探究している2年海洋科学科と普通科（理系）より7チームがZoomにて参加しました。こちらはアメリカ（ロサンゼルス）、ホンジュラス、エクアドル、日本（小浜市）をZoomでつなぎ、視聴しているアメリカの小学生48名に対し、他のマイクロプラスチック汚染についての現状をシェアするという内容でした。ホンジュラス、エクアドル、日本から参加した生徒や教員が、体験的に得た情報を発表しました。



### ◆IMLFA 2020 (国際海ゴミ青少年フォーラム 2020) in Taiwan

11月12日、2年海洋科学科・普通科（理系）より7グループが参加しました。今年7月に台湾基隆市にて開催予定でしたが、コロナ禍の影響で延期となり、12月・13日に台湾7校、アメリカ1校、日本1校が参加し開催となりました。本校生徒はGoogle Meet（ビデオ会議ツール）を使い、マイクロプラスチック汚染についての課題研究成果を発表しました。研究者の方々や高校生の皆さんが温かく聴いてくださったので、初めての英語での発表を無事終えました。

